

## 46年目の始まりです

中里にも、また、太陽が眩しい春がやってきました。津軽山地の雪解けも終わり、かつては十三潟であった広大な水田では、田植えが北上し、まもなく十三湖に辿り着こうとしています。今年は特に厳しかった地吹雪を懐かしく思いながら、素晴らしい初夏を迎えています。道路脇やあぜ道に咲く黄色い菜の花には、心を癒やされる日々です。

本当に残念でありませんが、閉校の年である令和3年度が始まりました。創立以来46年目を迎え、3500名を超える卒業生を輩出してきた我が中里高校は、歴史の幕を降ろそうとしています。

昨年来の新型コロナウイルス感染症への対応により、当たり前だった教育活動が大きな影響を受けております。本校では、幸いなことに、これまでは全生徒及び教職員が健康を維持しております。学校行事についても、最後の修学旅行を北海道で行うなど、日程や内容を工夫しながら、予定した行事はほぼ実施するとともに、田子高校との交流を行うなど、生徒の心に残る活動も実施してきました。来る10月2日には閉校式典を予定しております。コロナ禍を克服しながら、必ず開催いたします。

今年の最大のミッションは、残る10名の三年生の希望進路を達成することです。始業式では「10名の皆さんの希望進路を達成させ、笑顔で全員が卒業できるように、教職員一同力を合わせて、皆さん一人一人と、歩んでいきたい。」と述べました。

このあとは、地元中泊町など、地域との連携をさらに図りながら、生徒の進路達成のために、教職員が一体となり生徒に寄り添った教育活動に取り組みます。

家庭・同窓会・後援会など、皆様には最後まで、お力をいただきますようお願い申し上げます。

青森県立中里高等学校

校長 しら はま しげる  
白濱 卯